

合言葉

元気なあいさつ
だれにも親切
きれいな陽東

陽東小 学校だより

令和7年度 第5号

令和7年11月5日 発行

陽東の風

学校HP
QRコード

宇都宮市立陽東小学校
校長 原 晃子

宇都宮市立陽東小学校

創立50周年
ありがとうございます！

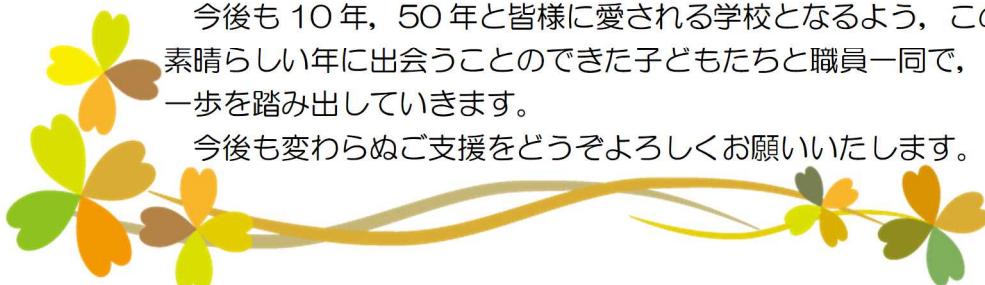
昭和51年。峰小学校から分離し、陽東小学校が開校しました。峰小・石井小・平石北小から迎えた児童は783名の21クラス、教職員は32名でのスタートだったとのことです。

校舎は引越し後の陽東中学校の施設を利用したため、小学生に合わせた学校づくりに多くの方がご尽力くださいました。10周年記念誌には、校庭に新しく遊具が設置されたこと、水道が高くて1年生には手が届かなかったこと、プールの水深が深かったため底上げを行ったことなどの記録が残されています。

広い校庭は、昭和40年代に植樹されたという東側の見事な桜並木をはじめ、300本を超える樹木が植えられ、現在も立派な木々が四季を彩り、子どもたちを見守ってくれています。他にも10周年記念誌には、正門東側植え込みにある梅檀の双葉をもった男女仲良し像や、昇降口に堂々と置かれた日光杉並木の杉の輪切りのことなどが書かれており、この陽東小学校の素晴らしい環境が50年の歴史を超えて受け継がれていることがうかがえ、とても感慨深く思われます。地域の皆様、保護者の皆様の支えがあってこそ輝かしい50周年です。

今後も10年、50年と皆様に愛される学校となるよう、この素晴らしい年に出会うことのできた子どもたちと職員一同で、一步を踏み出していくます。

今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。



陽東50-50 桜思い出マスコットづくり

陽東小のシンボルともいえる桜。今年の春も校庭で綺麗に咲き誇っていました。その後、葉桜となったソメイヨシノですが、校庭東側桜並木の7本と正門東側の2本が、老木化に伴い伐採されました。50年にわたり本校を見守ってくれたこの桜を使い、50周年の記念の思い出作りができるのかと地域協議会を中心に企画されたのが、このプロジェクトです。宮大工である一級建築士の「でえく木工教室」鈴木克知先生を講師にお迎えし、地域の方、保護者の方のボランティアも合わせると、40名以上の方が駆けつけてくださいました。



今年の春の桜



写真:創立10周年記念誌より



当日は桜の枝を輪切りにしたものでマグネットマスコットを、細い枝を使ってボールペンを作りました。子どもたちは思い思いのパートを選んで想像力を働かせて組み合わせ、素敵な作品を手にみんな納得の笑顔です。

陽東小の桜は子どもたちの手元でこれからも大切にされていくでしょう。マグネットやボールペンと共に、地域の皆様と一緒に活動した時間も大切な思い出の一部です。

たくさんの皆様のご協力をありがとうございました。



創立50周年記念式典

10月24日(金), 市長様, 市議会議長様, 教育長様をはじめ, 40周年からの歴代の校長先生方, 元PTA会長様, 地域の皆様など多数のご来賓をお招きし, 本校創立50周年記念式典を盛大に開催いたしました。ご来賓の皆様は総勢50名, 全校生425名と職員, 保護者の皆様も70名ほどの参加がありました。式の開始前には, 校歌制定前に歌われていた「陽東小学校愛歌」が流れました。式が始まると広い体育館の中は皆様の祝福の気持ちで満ち溢れ, 子どもたちの50周年を祝う呼びかけや歌, 吹奏楽部伴奏による校歌合唱が喜びを高めてくれました。皆様からお祝いの温かなお言葉をいただき, お世話になった方々への表彰・感謝状の贈呈も行いました。こうして陽東小学校のこれまでを支えてくださった多くの皆様とともに50周年をお祝いすることができたこと, 心より感謝申し上げます。実行委員の皆様も大変お世話になりました。



記念事業「歌う海賊団ッ！」上陸

50周年記念事業として、10年前の40周年記念事業の際にもお呼びした「歌う海賊団ッ！」様による講演が行われました。「歌う海賊団ッ！」様の2025年の冒険は「子どもたちに夢と笑顔を 親たちに元気とエールを 先生たちにワクワクと遊び心を」とのこと。乗船中はたくさん歌って声を出し、たくさん笑ってつながって、子どもたちも大人も体を動かして心から楽しみました。元気が生まれたあっという間の1時間。思い出に残る公演で、陽東小学校の未来への船出を祝う大きな力をいただきました！

ありがとうございました。



陽東 50 祭 おめでとうございます



10月26日（日）に陽東地区50周年を祝う「陽東50祭」が、陽東コミセンと陽東小を会場に盛大に開催されました。このような温かな地域の皆様に支えられているのだなど改めて感謝の気持ちが湧いてきました。地域の皆様、引き続きよろしくお願ひいたします。